※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　演　劇　　科

教科	演劇	科目	舞踊	単位数	2　単位	年次	1　年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業には、舞台に立つものとしての自覚を持って参加してください。
・舞踊のテクニックをしっかり学ぶ心づもりをして、授業に臨んでください。
・テクニックも大事ですが、舞踊はイメージに裏打ちされていることが絶対の条件です。そのことを自覚しましょう。
・学んだこと、授業を受けて気づいたことなどは、その日のうちにメモしておくように心がけましょう。
・積極的に、なおかつ楽しく取り組むことが一番です。それが、あなたの能力を伸ばしてくれます。

2　学習の到達目標

(1)バレエの用語を理解するとともに、バレエの基礎的な技能を身につける。また、クラシックバレエを学ぶことを通じて、演劇に必要な、美しい立ち方や立ち居振る舞いを身につける。
(2)自己のイメージをもって舞踊表現を創意工夫し、演劇の表現と関連付けて構想できるようにする。
(3)主体的・協働的に舞踊に取り組み、生涯にわたり舞台芸術を愛好する心情を育むとともに、意欲的・主体的に身体表現を行う態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	舞踊用語を理解するとともに、舞踊および演劇的な表現をするために必要な技能を身につけ、その技能を、創意工夫した表現へと結びつけているか。舞踊の基礎を身につけているか。	舞踊および演劇の本質的な面白さを感受し、自らの発想を舞踊的・演劇的に表現するための構想を練ることができるか。	演劇文化を愛好し、身体による表現に関心を持ち、意欲的、主体的に身体表現を行って、その喜びを味わおうとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	基本ポジション 脚・腕の動かし方	バレエ芸術において欠かせない、軸づくり、軸の移動を通して、「まっすぐ」「自ら」立つということを学ぶ。	a:舞踊の基礎を身につけているか。 b:舞踊のテクニックを表現に結びつける意識を持てているか。 c:積極的に授業に参加することができているか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
	「パ」の習得	「パ」を習得することにより、筋肉の使い方、しならせ方を学ぶ。 それを生かし、肉体の可動域を広げ、より大きく、堂々と立つ(存在する)ことを学ぶ。	a:舞踊の基礎を身につけているか。 b:舞踊のテクニックを表現に結びつける意識を持てているか。 c:積極的に授業に参加することができているか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
2	「パ」の連鎖 アンシェヌマン	「パ」と「パ」をつなぐテクニックを学び、より「踊り」に近づける。 重心の移動、波動の切り替えなどにより、自分の肉体を自分でコントロールできるようにさせる。	a:舞踊の基礎を身につけているか。 b:舞踊のテクニックを表現に結びつける意識を持てているか。 c:積極的に授業に参加することができているか。	小テスト	リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
	テクニック・作品創りへのチャレンジ	ここまでつくりあげてきた肉体を使い、「舞踊」としてのテクニックの習得をはかることにより、より強靭でしなやかな筋肉を目指す。 また、授業公演に向けての作品創りに取り組み、1曲を「踊りきる」ことを学ぶ。	a:舞踊の基礎を身につけているか。 b:舞踊のテクニックを表現に結びつける意識を持てているか。 c:積極的に授業に参加することができているか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
3	○表現する ○自らが創り出す	ただ肉体を動かすだけでなく、それを通して何を伝えたいのか。 そのためにはどのように動きをつないでいけば良いのか考える。 自己発信するために、自らが動きをつくり出すことへも挑戦する。	a:舞踊の基礎を身につけているか。 b:舞踊のテクニックを表現に結びつける意識を持てているか。 c:積極的に授業に参加することができているか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度